

平成28年度 学校関係者評価報告書

学校法人 本田学園
アルファジャパン美容専門学校
学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員

本田 浩三	株式会社J&K 会長
奥田 桂司	アーデントビューティーカレッジ 前校長
清水 律子	兵庫県立姫路西高等学校 元教諭
西山 博資	保護者（卒業生）
馬場 博之	卒業生
本田 宗一郎	アルファジャパン美容専門学校 校長

学校関係者評価委員会・開催日時

平成28年8月30日 午後10時00分～12時30分

学校自己評価報告書（平成28年度）の結果に基づいて学校関係者評価を実施したので下記のとおり報告します。

1. 教育理念・目標

評価

評価項目	採点
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
学校における職業教育の特色は何か	4
社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想は抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	3

※採点基準： 適切— 4 ・ ほぼ適切— 3 ・ やや不適切— 2 ・ 不適切— 1

現状

4月に学校新聞を発行、学生の自宅に発送しているので以前より周知されているのではないかと

課題と改善点

周知されているかどうか確認できない

学校関係者評価

周知について、ファミリービューティデーに向けての取り組み、親に子供の成長を見ていただくため学校新聞に掲載してはどうか

2. 学校運営

評価

評価項目	採点
目的に沿った運営方針が策定されているか	3
事業計画が策定されているか	3
運営組織や意思決定機能は、規則などにおいて明確化されているか	3
人事・給与に関する組織整備など、意思決定システムは整備されているか	3
教育活動などに関する情報公開が適切になされているか	3

※採点基準： 適切— 4 ・ ほぼ適切— 3 ・ やや不適切— 2 ・ 不適切— 1

現状

実務実践教育は出来ている

何か特化したものを模索

課題と改善点

広報の年間計画を立てる

学校関係者評価

他校との違いをもっと前面に出して新しいことに取り組んでいることをアピールしていくようにする

3. 教育活動

評価

評価項目	採点
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方策などが作成されているか	3
教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえて、学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
学科などのカリキュラムは体系的に編成されているか	3
美容業界の連携によりカリキュラムの作成・見直しなどが実施されているか	3
美容業界における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	2
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確か	3
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での位置づけはなされているか	3
人材育成目標の達成に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
美容分野における先端技術・知識を習得するための研修や、教員の指導力の育成などの向上のための取り組みが行われているか	3
職員の能力開発のための研修は行われているか	3

※採点基準： 適切— 4 ・ ほぼ適切— 3 ・ やや不適切— 2 ・ 不適切— 1

現状

概ねカリキュラムは整っているが教員の指導力は統一されていない部分もある

課題と改善点

教員の指導力評価、それにより研修し指導力を向上させる

学校関係者評価

評価は生徒にアンケートを取って参考にする

4. 学習成果

評価

評価項目	採点
就職率の向上はなされているか	3
美容師資格の取得はなされているか	4
その他美容関連の資格取得はなされているか	3
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍・評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	

※採点基準： 適切— 4 ・ ほぼ適切— 3 ・ やや不適切— 2 ・ 不適切— 1

現状

退学率の低減は図られているが、卒業生の活躍・評価は把握していない連絡のない卒業生の方が多い

年度		入学者数		退学者数		卒業者数		就職者数	
			計		計		計		計
平成 18 年度生	男	3名	5名	1名	1名	2名	4名	2名	4名
	女	2名		0名		2名		2名	
平成 19 年度生	男	3名	5名	0名	0名	3名	5名	3名	3名
	女	2名		0名		2名		0名	
平成 20 年度生	男	5名	7名	1名	1名	4名	6名	3名	5名
	女	2名		0名		2名		2名	
平成 21 年度生	男	2名	6名	0名	2名	2名	4名	2名	4名
	女	4名		2名		2名		2名	
平成 22 年度生	男	8名	41名	1名	9名	7名	32名	4名	29名
	女	33名		8名		25名		25名	

平成 23 年度生	男	11 名	42 名	3 名	7 名	8 名	35 名	8 名	35 名
	女	31 名		4 名		27 名		27 名	
平成 24 年度生	男	12 名	27 名	3 名	4 名	9 名	23 名	9 名	23 名
	女	15 名		1 名		14 名		14 名	
平成 25 年度生	男	7 名	21 名	0 名	4 名	7 名	17 名	7 名	17 名
	女	14 名		4 名		10 名		10 名	
平成 26 年度生	男	4 名	30 名	1 名	6 名	3 名	25 名	3 名	23 名
	女	26 名		5 名		22 名		22 名	
平成 27 年度生	男	5 名	15 名	1 名	2 名	—	—	—	—
	女	10 名		1 名		—		—	

※26 年度生・27 年度生については平成 28 年 3 月 31 日時点

■ 本校における美容師国家試験合格率（昼間生）

年度	合格率
平成 19 年度生	80%
平成 20 年度生	100%
平成 21 年度生	100%
平成 22 年度生	96.7%

年度	合格率
平成 23 年度生	68.6%
平成 24 年度生	95.5%
平成 25 年度生	94.1%
平成 26 年度生	100%

■ 美容師国家資格取得以外でも各種検定の取得を積極的に奨励している

【JMA 学内メイク検定結果】

平成 25 年度 総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
4 級	12 人	2 人	0 人	0 人	14 人	85%
3 級	10 人	0 人	0 人	1 人	11 人	90%

平成 26 年度 総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
4 級	25 人	1 人	0 人	1 人	27 人	92%
3 級	26 人	0 人	0 人	1 人	27 人	96%

平成 27 年度 総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
3 級	12 人	0 人	0 人	0 人	12 人	100%

【JNA 日本ネイリスト技能検定結果】

平成 26 年度 総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
3 級	9 人	11 人	0 人	6 人	26 人	34%

平成 27 年度 総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
3 級	12 人	11 人	0 人	0 人	12 人	8.3%

【日本まつ毛エクステンション協会 ジュニアアイデザイナー検定結果】

平成 25 年度 総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
3 級	6 人	0 人	0 人	0 人	6 人	100%

平成 26 年度 総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
3 級	12 人	5 人	0 人	0 人	17 人	70%

平成 27 年度 総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
3 級	21 人	4 人	0 人	0 人	25 人	84%

■ 通信生の状況

年度		入学者数		退学者数		卒業者数	
			計		計		計
平成 18 年度生	男	10 名	19 名	1 名	6 名	9 名	13 名
	女	9 名		5 名		4 名	
平成 19 年度生	男	8 名	24 名	1 名	4 名	7 名	20 名
	女	16 名		3 名		13 名	
平成 20 年度生	男	10 名	22 名	2 名	2 名	8 名	20 名
	女	12 名		0 名		12 名	

平成 21 年度生	男	8 名	19 名	2 名	5 名	6 名	14 名
	女	11 名		3 名		8 名	
平成 22 年度生	男	1 名	7 名	1 名	2 名	0 名	5 名
	女	6 名		1 名		5 名	
平成 23 年度生	男	8 名	20 名	1 名	3 名	7 名	17 名
	女	12 名		2 名		10 名	
平成 24 年度生	男	2 名	10 名	0 名	1 名	2 名	9 名
	女	8 名		1 名		7 名	
平成 25 年度生	男	12 名	22 名	1 名	2 名	—	—
	女	10 名		1 名		—	
平成 26 年度生	男	16 名	40 名	5 名	6 名	—	—
	女	24 名		1 名		—	
平成 27 年度生	男	10 名	37 名	0 名	0 名	—	—
	女	27 名		0 名		—	

■本校における美容師国家試験合格率（通信生）

年度	合格率
平成 19 年度生	36.8%
平成 20 年度生	75.0%
平成 21 年度生	21.4%

年度	合格率
平成 22 年度生	80.0%
平成 23 年度生	87.5%
平成 24 年度生	77.7%

課題と改善点

美容師免許以外の資格の合格率の向上

学校関係者評価

卒業生が学校に来たいと思えるようにする、ライン等の活用

5. 学生支援

評価

評価項目	採点
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
学生相談に関する体制は整備されているか	2
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3
学生の健康管理の支援体制は整備されているか	2
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援体制はあるか	3
保護者と適切に連携しているか	3
卒業への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校との連携による教育・職業教育の取り組みが行われているか	2

※採点基準： 適切— 4 ・ ほぼ適切— 3 ・ やや不適切— 2 ・ 不適切— 1

現状

学生相談に関する体制は整備されていない

高校との連携はほとんど取れていない

課題と改善点

文化祭、体験授業などの交流を増やすようにして高校との連携を深めるようにする

学校関係者評価

インスタグラム、フェイスブック等の活用
文化祭に参加し学校の事をアピールする

6. 教育環境

評価

評価項目	採点
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3
海外研修などの実施の体制は整備されているか	2
防災に対する体制は整備されているか	3

※採点基準： 適切— 4 ・ ほぼ適切— 3 ・ やや不適切— 2 ・ 不適切— 1

現状

実践授業が行える設備である

学校関係者評価

施設、設備は出来るだけ整備するようにしてほしい。

災害が発生した場合迅速に対応できるように日頃から訓練するようにしてほしい

7. 学生募集

評価

評価項目	採点
学生募集活動は適正に行われているか	3
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
学費は妥当なものとなっているか	3

※採点基準： 適切— 4 ・ ほぼ適切— 3 ・ やや不適切— 2 ・ 不適切— 1

現状

認知度を高めるため全職員で統一した情報の伝達方法を検討している

課題と改善点

認知度の向上

学校関係者評価

サロンから働くにあたって必要な生徒像を聞いて教育し、より実践した人材を育て、認知を図る

8. 財務

評価

評価項目	採点
中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
財務に関する会計監査は適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

※採点基準： 適切— 4 ・ ほぼ適切— 3 ・ やや不適切— 2 ・ 不適切— 1

現状

昼間生は美容科 25 人・T/B 科 9 人

通信生 13 期 20 人 14 期 34 人 15 期 36 人

昼間生不足を通信生で補っているのが現状です

課題と改善点

8 月に厚生労働省の専門実践教育訓練講座の指定に認可されましたがどれだけ生徒が集まるかどのように周知したらいいのか検討いただきたい

学校関係者評価

職業実践課程の認知度を上げるように努力してほしい

9. 法令などの遵守

評価

評価項目	採点
法令・専門学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に対し、その保護のための対策がなされているか	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4

※採点基準： 適切— 4 ・ ほぼ適切— 3 ・ やや不適切— 2 ・ 不適切— 1

現状

問題なし

課題と改善点

学校関係者評価

法令遵守に努力するように

10. 社会貢献・地域貢献

評価

評価項目	採点
学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献が行われているか	3
学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	4

※採点基準： 適切— 4 ・ ほぼ適切— 3 ・ やや不適切— 2 ・ 不適切— 1

現状

ボランティアの要望があれば行っている

課題と改善点

本年は姫路城の清掃を行ったが単年度ではなく毎年行うボランティアを増やしてはどうか

学校関係者評価

定期的に清掃ボランティアに参加してはどうか